

平成27年 第18回帯広市教育委員会会議録

1. 平成27年12月25日金曜日 16時30分～17時10分
帯広市教育委員会会議を帯広市役所 教育委員会室に招集する。

2. 本日の出席委員

教育委員長	田	中	厚	一
教育委員	門	屋	充	郎
教育委員	伊	藤	成	昭
教育委員	藤	澤	郁	美
教育長	八	鍬	祐	子

3. 本日の議事日程

- 日程第 1 会議録署名委員の指名について
- 日程第 2 その他(1) 帯広市議会12月定例会の報告について
その他(2) 教育懇談会の概要報告について
その他(3) 今後の事業予定について
その他(4) 寄附受納について
その他
- 日程第 3 報告第18号 平成27年度とからジュニア文芸各賞の決定について【非公開】
- 日程第 4 議案第64号 職員の人事について【秘密会】
- 日程第 5 議案第65号 教職員の処分内申について【秘密会】
- 日程第 6 報告第19号 教職員の処分について【秘密会】

田中委員長

これから、平成27年第18回帯広市教育委員会会議を開会いたします。

出席委員は全員であります。

会議は成立しております。

ここで諸般の報告をいたします。

(福原課長 報告)

日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、門屋委員及び藤澤委員を指名いたします。

日程第2、その他に入ります。

その他(1)帯広市議会12月定例会の報告についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

広瀬調整監

議案書5ページをお開きください。帯広市議会12月定例会における教育委員会に係ります質疑のうち、私から学校教育部に係ります質疑の概要についてご報告いたします。一般質問19名中6名、議案審査特別委員会11名中3名の議員からご質問があったところでございます。はじめに一般質問では、清水隆吉議員から、昨今、社会問題として取り上げられているLGBT、性的マイノリティに関してご質問がございました。様々な子どもの個性をしっかりと受け止めるとともに、心ない言葉で誤解を生むことがないように慎重に対応する必要があることや国や北海道の動向の見定めや専門機関の情報などを把握し適切に対応していく旨などを答弁しております。次に、杉野智美議員から、学校保健などについてのご質問があり、色覚検査の考え、虫歯の状況、健診での要検査児童生徒への取組みと今後の考え方などについて答弁しております。次に、大石清一議員から、学校生活についての幅広いご質問があり、不登校・いじめの現状と対策、相談員の設置状況、学校司書配置の考え、学校トイレの洋式化の考え、学校給食の子どもたちの声の把握などについて答弁しております。次に、播磨和宏議員に携帯電話、スマートフォンの所有率、インターネットマナー教育や家庭への現状及び今後の取組みなどについて答弁しております。次に、菊地ルツ議員に、学校現場の合理的配慮の現状と今後の考え方、支援を必要とする児童や生徒、保護者の意見要望などのニーズ把握、教員の研修などについて答弁しております。次に、佐々木直美議員に、小中学校でのキャリア教育の推進の考え方や取組み内容、南商業高校の進路状況について答弁しております。議案審査特別委員会では、有城議員、楢山議員、富井議員から、児童保育センター分室の学校内設置について、教育委員会として、保護者との意に至っていない施設の対応、学校教育への影響などを答弁しております。学校教育部に関する報告は以上であります。

葛西調整監

続きまして、生涯学習部に係ります質疑概要についてご報告させていただきます。はじめに、清水議員から、帯広の森運動施設区の整備に関するご質問があり、整備進捗は一定程度ニーズを充足していること、また、一般利用の際、小中学生や障害者は無料とし、家族連れの利用を促すよう努めている旨の答弁をしております。次に、大石議員のご質問の運動施設利用における課題と対策については、使用料改定との関連は定かではないが、高齢者や障害者の個人利用が増加傾向にあること、また、個人利用1カ月券の期間設定のあり方の点検等を行っていく旨を答弁しております。次に、播磨議員の質問中、情報化社会の中の教育については、生涯学習の取組みとして、ネット社会が抱える様々な問題点の市民理解を図るため、庁内関係各部のほか、国等との連携も検討する必要がある旨を答弁しております。生涯学習部に関する報告は以上であります。

田中委員長
各委員
田中委員長

これから質疑に入ります。

ありません。

別になければ、質疑を終結し、本件を終了いたします。

その他(2)教育懇談会の概要報告についてを議題といたします。
直ちに説明を求めます。

嶋崎 部長

平成27年度教育懇談会の開催結果の概要についてご報告いたします。議案書7ページをお開きください。はじめに、1.開催日程・参加者数については、11月4日から11月25日の期間中、啓西小や市内コミュニティセンターなど6カ所で開催し、合計120名の出席をいただいたところでございます。出席者は、PTA関係者や地域でボランティア活動をされている方の出席が多くございました。次に、開催内容についてですが、昨年同様、特定のテーマを設けずに、冒頭、お二人の教育委員の自己紹介の後、教育長から教育委員会の取組みを紹介し、その後、教育全般に関する意見交換を行ったところでございます。次に主な質問・意見等についてですが、記載のとおり、学校・家庭・地域の連携についてのご意見をはじめ、エリア・ファミリー構想、いじめ問題、特別支援教育、学校給食、生涯学習に関する事など、教育について幅広くご意見をいただいたところでございます。次に8ページの教育懇談会で行ったアンケートの概要につきましては、110名の方から提出いただき、91.7%の回収率となっております。結果の概要でございますが、①開催周知につきましては、約6割の方が児童生徒の保護者や公共施設等に配布したチラシを見てお知りになったということでございます。④参加した感想については、8割の方が良い、まあ良いと肯定的な感想をいただきました。⑥テーマを設けずに実施したことにつきましては、8割の方から良かったとの回答をいただいております。⑦ご意見・ご感想につきましては、学校・家庭・地域の連携に関するこ

とやいじめなどについてご意見がございました。最後に開催結果の周知につきましては、今後、いただいたご意見・ご質問とそれに対する回答等の概要を一覧にしてまとめ、ホームページにて公開するとともに、コミセンなどの公共施設での掲示などを行う予定でございます。報告は以上でございます。

田中委員長
伊藤 委員

これから質疑に入ります。

7年前から開かれた教育委員会として懇談会を開催し参加させていただいております。私個人も最初のうちは緊張したわけですが、回を重ねるごとに、市民の率直な生の声や地域で活躍されている方のご苦労や課題を直接聞くことができたことは、教育委員会や我々の立場としても、レイマンコントロールということから言えば、前よりも現場目線、市民目線になり、懇談会で得た情報を共有しながら、教育委員会の中で様々な形で反映でき、非常に有意義であったと思います。今後も継続していただければと思います。

門屋 委員

伊藤委員と同じで、7年間の中では非常に和気あいあいというか、前向きな発言が多かったように思いますし、伊藤委員は緊張という言葉をお使いになっていましたが、当初は私たちも緊張していましたし、主催する事務方も緊張していたように思います。段々慣れてきたことが発言を促してくれた感じがします。ようやく開く意義があると実感を持ちました。継続していただければいいと思います。

藤澤 委員

私は教育委員として初めて教育懇談会に参加させていただきました。初めてで私自身大変緊張しましたが、どの会場も建設的な意見が出されていて、文句のような話はなかったように思います。どの会場も良かったと感じました。ただ、保護者の出席が少ない会場があり、私が保護者時代に教育委員会というものは、学校では解決できない問題を持っていくところという概念がありました。今の保護者の方はどう思っているのかわかりませんが、教育委員会の仕事を知っていただくために懇談会は意義のあるものだと思います。教育委員会を身近に感じていただけたらと思いますので、保護者の方がより出席しやすく、より発言しやすい教育懇談会にさせていただけるといいと思いました。感想としては、いじめの問題が出ていましたので、改めていじめ対策強化を図らなければならないと感じました。私自身も大変有意義な懇談会に出席させていただいて、ありがたく感じています。

田中委員長

私からも一言、先ほどの門屋委員の話に尽きます。やっとなここに来て懇談会の形を成して、懇談の意味がわかってきた感じがしましたし、これくらい時間がかかるという印象を持ちました。どなたかもおっしゃられたように、当初は教育委員会に何か言ってやらないと気が済まないという方もおりましたし、我々側も何を言われるのだろうかとおどおどしながら臨み、お互いに構えてしまったところ

がありました。ようやく何を言われてもいいという気持ち持ったのも確かですし、また、それぞれの部署の立場で今やれる最大限の努力をしているという思いも当然あるからだと思います。そうは言ってもものんびりしていていいわけでは当然なくて、藤澤委員がおっしゃりたいじめの問題はいつどこで起きるかわかりませんので、きちり対応していかなければいけないことは当然のことだと思います。延べ120人という数字が多いか少ないかはいろいろあるでしょうけれど、皆さんと近い形でお話できたという意味ではよかったです。教育長からも何かありますか。

八鍬教育長

6カ所すべて出ささせていただきまして、回数を重ねるたびに感じたことは、前向きな懇談会だったことは皆さんからお話があったとおりで、非常に和やかにお話ができる雰囲気がやっと思っております。今回各会場で、学校現場の大変さを感じて逆に応援したいという声をいただいて、私たちの方が助けていただいているということが垣間見えた瞬間もありました。それと同時に出られる方々の固定化や高齢化になってきていること、藤澤委員もおっしゃられたように保護者の方が少ないことを感じました。今回、初めて啓西小学校を会場にして行った結果、保護者の方や学童の先生に来ていただきました。これまでの回数を生かして甘んじることなく、皆さんの声を丁寧に聞いて、今後も工夫を重ねていかなければいけないと思われました。私たちも事務方もしっかりと検討を重ねながら、教育懇談会のみならず、日常的にも自ら出て行き、市民の皆さんの声を聞く機会を設けていく努力をしたいと思っております。皆さんお疲れさまでした。

田中委員長

他になれば、質疑を終結し、本件を終了します。

その他（3）今後の事業予定についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

広瀬調整監

議案書9ページでございます。学校教育部の事業予定は記載のとおりでございますが、一番下の学校給食週間が1月19日から25日まででございます。それに合わせまして、地元産食材や姉妹都市の大分市の特産物を使用した特別献立を提供するほか、市民試食会や市長・教育委員との交流給食会を実施いたします。以上でございます。

葛西調整監

生涯学習部関係でございます。議案書10ページをお開きください。文化課の事業から、ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団ニューイヤーコンサートが1月11日に行われます。次に図書館では、わくわくドキドキ家読にチャレンジということで、市内の小・中学生を対象に冬休み期間中の家庭での読書を奨励する取り組みとして実施いたします。12ページの百年記念館では、第34回郷土美術展を1月22日から約1週間実施いたします。博物館講座は道教

委から講師をお招きし、アイヌ文化期の遺跡「チャシ」の解説を1月23日に行う予定です。この他、動物園では冬期開園期間中に事業1件、スポーツ振興室ではスケート、クロスカントリーの事業を3件、4館連携事業は記載のとおり予定してございます。

田中委員長
伊藤 委員

これから質疑に入ります。

図書館の家読にチャレンジについて、読書への関心を高めるには非常に効果的だと思われま。初めての取組みなのか、過去にも行っていたのか、もし、過去に行われていたとすれば、そのプラス面について教えていただきたいと思いま。

本江 館長

帯広市としての実施は初めてになります。北海道教育委員会で家読の推進を図っており、学校への呼びかけは平成23年に行われておりますが、帯広市として実施するのは初めてです。本州では各地で実施されておりますし、北海道でも何地区か取組んでいるところがございます。

伊藤 委員
藤澤 委員

わかりました。

この中で応募者の中から抽選でプレゼントとありますけれど、感想文の順位を付けるのではなくて、ランダムに応募者の中からプレゼントをするのでしょうか。

本江 館長

こちらはなぜ始めたのかということですが、読書が好き、どちらかという好きのパーセンテージに比べ、1日10分以上自宅で本を読む児童・生徒の割合が低くなっております。学校では朝読書で全生徒が読書をしておりますが、その習慣が家にまでつながっていないということがあります。家族皆さんで同じ本を読んで感想を述べたり、書いたり交換したりして、コミュニケーションも図れて一石二鳥ということをお願いしております。そのため、序列はつけません。皆さんで取組んでいただいて、家族皆で本を読んでいただく時間を増やしていただくことをお願いしております。1人1冊まで提出していただき、2月下旬に公開抽選会を予定しております。

田中委員長

他になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

その他(4)寄附受納についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

福原 課長

議案書15ページでございます。企画総務課の寄附についてご報告いたします。1件目、帯広市立明星小学校開校80周年記念事業協賛会様から、50インチ液晶テレビ14台外、288万7,920円相当を11月8日に明星小学校の教育環境の一層の充実を図るためとしてご寄附いただきました。2件目、帯広市立帯広第七中学校開校50周年記念事業協賛会様から、自転車小屋1棟、テント6基、281万円相当を11月28日に帯広第七中学校の教育環境の一層の充実を図るためご寄附いただきました。3件目、十勝道路株式会社様か

ら、12月15日に焼砂、1袋10kgを480袋、102万3,840円相当を市内小学校の教育環境の一層の充実を図るためご寄附いただきました。以上です。

村木 課長

学校教育課からは4件ご報告いたします。議案書16ページでございます。市外在住の方から10月7日3万円を、同じく市外在住の方から11月18日に5万円を、東京都三鷹市在住の〇〇〇〇様から11月19日に10万円を、栃木県宇都宮市在住の〇〇〇〇様から12月17日に50万円を、それぞれ学校教育の振興のための奨学事業や教育の研究に活用してもらうためご寄附いただきました。寄付金につきましては教育振興基金に積み立ててまいりたいと考えてございます。以上です。

本江 館長

図書館からは2件ご報告いたします。市外在住者の方から11月17日に10万円を、帯広市在住の〇〇〇〇様から11月20日に100万円を図書購入費に充ててほしいという趣旨でご寄附いただき、2件とも図書整備基金に積み立ててまいります。以上です。

北沢 館長

百年記念館からは1件ご報告いたします。帯広市在住の〇〇〇〇様より、11月19日に写真40点をご寄附いただきました。十勝の風景を題材に撮影されたものであります。いただきました資料は百年記念館の資料として様々な機会に皆様にご鑑賞いただきたいと思います。と考えております。

西尾 主幹

スポーツ振興室からは2件ご報告をいたします。1件目、帯広市、十勝ラグビーフットボール協会会長、増谷和夫様から12月4日ラグビーゴールポスト一式、54万円相当を、十勝川河川敷運動施設の利用者の利便の向上のためとしてご寄附いただきました。2件目は市外在住者の方から12月9日に芝刈機10台、97万9,230円相当を市民協働により管理するパークゴルフ場の芝生管理と利用環境向上に寄与するためにご寄附いただきました。

田中委員長

これから質疑に入ります。

各 委 員

ありません。

田中委員長

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

事 務 局

事務局からその他説明事項はありますか。

田中委員長

ありません。

ここで会議の進め方についてお諮りいたします。

次の日程第3の案件については、帯広市教育委員会会議規則第16条第1項第6号により非公開に、日程第4から日程第6の案件については、同第2号により秘密会にしたいと存じます。

これにご異議ありませんか。

各 委 員

異議なし。

田中委員長

ご異議なしと認め、そのとおりに取り扱います。

これより会議を非公開といたします。

日程第3、報告第18号、平成27年度ととかちジュニア文芸各賞の決定についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

神田 部長

報告第18号、平成27年度ととかちジュニア文芸各賞についてご説明いたします。本日お手元に配付の差換えの資料をご覧ください。本件は先に開催されました、第3回ととかちジュニア文芸誌編集委員会のご意見を参考とし、決定いたしました受賞作品等についてご報告いたします。平成22年度から始まりましたジュニア文芸は、今年度から、ととかちジュニア文芸と名を改め、第6号として発刊するものでございます。各賞につきましては、ととかちジュニア文芸賞、優秀賞、佳作、推進奨励賞、入選を設けてございます。結果につきましては、最高賞のととかちジュニア文芸賞は、今年度は該当がございませんでした。優秀賞は、帯広市立稲田小学校5年、古村南さんの童話「日曜日の動物園」ほか2名の3作品、佳作には、北海道立帯広柏葉高等学校2年、巖真弥さんの童話「赤鬼山」ほか3名の4作品に決定いたしました。また、文芸活動の推進に寄与されました学校に贈る推進奨励賞は、帯広市立帯広第四中学校に決定しました。裏面の入選作品につきましては、記載のとおり、詩3名、短歌10名、俳句9名、合計22名となっております。ジャンルはご覧のとおりでございます。また、併せて募集をいたしました表紙絵につきましては、応募作品20作品の中、帯広柏葉高校2年の巖真弥さんに決定しました。巖さんにつきましては、佳作入選もされております。これら入選作品は、平成28年2月発刊予定のととかちジュニア文芸第6号に掲載いたします。なお、贈呈式は、平成28年2月21日に帯広市図書館で執り行う予定となっております。報告は以上でございます。

本江 館長

議案書3ページに添付させていただいております、ととかちジュニア文芸第6号応募結果につきましては、10月26日、第16回帯広市教育委員会会議にご報告させていただきました数値に誤りがございましたので、補足説明をさせていただきます。複数応募者の集計誤りとジャンルの変更により数値が変わってございます、訂正箇所は網掛け部分でございます。2の応募状況(1)の第6号の応募者数の197人、複数応募者が63人から、184人、複数応募者76人に訂正させていただきます。次に(2)応募作品数、小説7から6、童話6から7に訂正させていただきます。これは編集委員会の審査過程において、ジャンルが小説ではなく童話が相応しいであろうという判断のもと、本人と保護者に確認し、受理する形とさせていただきます数字を訂正させていただきました。(3)につきましては、複数応募者の該当する学校の応募人数等を修正させていただいたものでございます。昨年に引き続き、応募結果の集計において

訂正が生じ誠に申し訳ありません。今後、受付での確認はもとより、複数職員による点検確認を行い、このような誤りを繰り返さないよう事務処理を徹底してまいります。補足説明は以上でございます。

田中委員長
各 委 員
田中委員長

これから質疑に入ります。

ありません。

別になれば、質疑を終結し、本件を終了します。

これより会議を秘密会といたします。

(以下、非公開)

田中委員長
各 委 員
田中委員長

事務局からの説明は以上であります。この際、各委員から他に
ご意見、ご質問があればお受けいたします。

ありません。

別になれば、本日予定されておりました案件は、すべて終了し
ました。

以上で平成27年第18回帯広市教育委員会会議を閉会いたしま
す。